



## 2 主題探し

文章を書く際に主題（テーマ）というのは非常に重要です。主題というのは文章が何について書かれているのか、ということですが、ここではその主題を考える練習です。例を参考にしながら、次の文章の主題を探し解答欄に書きましょう。

例……………浜名湖は淡水と海水の入り混じった汽水湖で、静岡県の西端に位置する。

解答……………浜名湖

①イタチ科最大のクズリは、北米に棲む肉食獣で、気性が荒いことで有名である。

( )

②石見銀山は、島根県太田市にある日本最大の銀山で、現在では閉山され、二〇〇七年に世界遺産に登録された。

- ( )
- ③マグロの完全養殖に成功した近畿大学は、その効果あってか今では日本で最も受験者数の多いことで有名だ。
- ( )
- ④神奈川県の県庁所在地である横浜市は、みなとみらいや中華街、山下公園などの多くの観光地があり、古くから港町として栄えてきた。
- ( )
- ⑤本州の広島県尾道市と、四国の愛媛県今治市を結ぶしまなみ海道は、風光明媚な橋で、サイクリングロードの聖地として有名だ。
- ( )
- ⑥兵庫県にある竹田城は、「天空の城」と呼ばれ、雲海に浮かぶその姿の美しさで有名である。





## ⑥犬は考えるのか？

犬は人間の一番のパートナーであると、しばしば言われている。現代では家庭でペットとして犬を飼っている人は非常に多く、盲導犬や警察犬など人間の仕事上の相棒としても欠かせない存在だ。ペットとして飼っている人の多くは犬も家族の一員であり、喜怒哀楽を共にしていると考えているだろう。

しかし、それでも犬は人間とは違う生き物であり、何もかも人間と同じように考えることは難しい。たとえば家庭で飼われている犬は、飼い主である人間が外出先から家に帰ってくれば喜んで迎えるだろうが、その飼い主が家にいない間は「どこに行っているのか」ということをまったく理解していないように思える。人間の場合は幼い頃はそうであっても、いずれ家族の誰かが「仕事や学校などに行っていて、それが終われば帰ってくる」ということを理解できるようになり、それを予想して生活するようになる。

また、一般的に人間の場合は、成長するにつれ自分の名前を理解できるようになる。生まれたときに親やそれに近い人から与えられた正式な名前はもちろん、生きていく過程の中で生まれた略称やあだ名についても、それらが自分を指していると認識しているからこそ、他人から自分の名前や略称などを呼ばれば、すぐに反応することができるのだ。

一方、犬はどうだろうか。これは犬を飼えばわかることだが、飼い主が犬の名前を一定期間呼び続けることで、ほとんどの場合、犬はいつしか名前の呼びかけに反応するようになる。それでも反応し

ないなら、餌を見せながら名前を呼び、それで反応すれば「褒美として餌を与える」といった、なんらかの工夫をすればいい。いずれにせよ、そういったことを根気強く継続していけば、犬はやがて自分の名前に反応するようになるものだ。

しかし、これは犬が本当に自分の名前を理解していると言えるのだろうか。確かに「やがて自分の名前に反応するようになる」という点においては、犬も人間も同じかもしれないが、犬にはその背景にある「理由づけ」の観点が抜け落ちているように思える。

一般的に人間の多くは、ある出来事の解決や今後の対策のためにその出来事の原因を無意識のうちに考えている。たとえば「家族の誰かが家を出て行って、ある程度の時間が経過すると帰ってくる」という出来事の原因としては、「彼らは仕事や学校に行っていて、それらが終わったら家に帰ってくる」という習慣があるから」ということだ。したがって、名前を呼ばれたときも「呼ばれている音声で自分の名前であるから」という理由を無意識のうちに考えることで、それが自分の名前であると理解し、反応するようになるわけだ。

それに対して犬は、これまでの経験の積み重ねから「家を出て行った家族も、ある程度の時間が経過すれば帰ってくる」ということや「ある音声が聞こえてきたときに反応すると、褒められたり餌をもらえたりする」ということになんとなく気づき、それぞれの行動を起すようになる。つまり、犬は出来事の原因を頭で考えて、理解できるようにしたのではなく、「ある出来事が起これば、その後またある出来事が起こる」という現象に対して、段々と慣れていくだけなのだ。

そういう意味では、犬は人間と同じように物事を考えているとは言えない。しかし、犬と一緒に生活をしていると、彼らは明らかに喜んだり悲しんだり、まるで人間のように様々な表情を見せてくれる。犬がどのような仕組みで物事を考えたり、行動を起こしたりしているのかということは、まだまだ謎の多い問題である。

【要約Ⅰ】

195 180 165 150 135 120 105 90 75 60 45 30 15

270 255 240 225 210

【要約Ⅱ】

180 165 150 135 120 105 90 75 60 45 30 15